

## 「サイエンスカフェ」を開いてみた！ ～ロボットと私たちの未来～

現代生活学科1年生の専門科目の一つ、「ビジネスプランニング」。今年1月、その中で第1回となる「サイエンスカフェ」を行いました。「サイエンスカフェ」とは、普段余りなじみのない専門的な科学技術について、お茶を飲みながら、専門家をまじえてワイワイガヤガヤ話そうという催し。発祥はイギリス・ロンドンですが、今では世界的に広く行われているイベントです。

今回テーマとしたのは「ロボット」。最近話題になっているこの「ロボット」について、実際にSONYでロボット開発を行なった専門家（ヤマグチロボット研究所代表・山口仁一さん）をお招きしてお話を伺いました。



なぜロボットがダンスを踊るのか？なぜロボットはヒト型なのか？ロボットがもし戦争に使われたら？そしてロボットと人間のこれからの関係は？私たちの生活はどう変わるのか？…  
短い時間でしたが、参加者全員が未来の生活に思いをはせることができました。



[担当教員紹介] 行実 洋一 (ゆきざね よういち)  
実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 教授 博士 (学術)  
担当科目は「メディア生活学」「広告とメディア」「グローバル社会」など。  
その他は、裏面記載のホームページをご覧ください。

現代生活学科1年生YMさん作画





マスコミと一緒に映画をプロモーションしてみた！  
～吉本興業・フジテレビとの共同プロジェクト～



映画は作ったら終わりではありません。それをみんなに見てもらうために様々な広報・プロモーション活動が必要です。そこで去年、私たち現代生活学科では、フジテレビ制作の音楽ドキュメンタリー映画「ラブセッション」（沖縄国際映画祭・作品賞受賞作品）を、配給の吉本興業と一緒に宣伝を行いました。さらに秋に行われた「京都国際映画祭」に向けた宣伝活動にジョイント。…といっても今回は試写会、イベントに参加して色々なプロの方のお手伝いが精一杯でしたが… その模様は：



YouTube <http://youtu.be/B-jBHDSHR9k>

映画「ラブセッション」公式サイト <http://lovesession-movie.com/>

京都国際映画祭公式サイト <http://kiff.kyoto.jp/>

これもまた貴重な社会体験。今後も積極的なマスコミとの連携を図っていきます。

現代生活学科には様々なメディア関連の科目があります。マスコミやジャーナリズムについて、実際に現場と交流したり、テレビ・映画の関係者、アナウンサーなどを招いて行う授業を予定する一方、もっと幅広く、プログラミングやWeb制作、様々なITメディアの活用法について学ぶ授業まで、まさに多種多様。

これからの私たちの生活に欠かせないメディア。

あなたも私たちと一緒にこれからの「メディア」について学んでみませんか？

